

寒冷地形談話会通信

1990年度第2号 1990年7月3日発行

事務局連絡先: 〒158 東京都世田谷区深沢2-1-1
東京都立大学理学部地理学教室内
平川一臣 TEL 03-717-0111(代)

1. 6月例会(90年度第2回)の報告

6月23日、明治大学において、秋の地理学会シンポジウム「極地と高山の地形-世界の周氷河環境の中での日本の位置づけ-」に向けての予備シンポジウムが行われた。発表者は以下の通り。参加者=20名以上。

松岡知憲(筑波大): 高山と極地における凍結融解作用のメカニズム
平川一臣(都立大): 周氷河環境と永久凍土地域縁辺の地形
沢口晋一(明治大): スピッツベルゲンと北上山地の斜面プロセス
原芳生(法政大): ラップランド(フィンランド)の周氷河環境と周氷河地形
柳町治(法政大): 日本における周氷河成平滑斜面と、おもにその形成領域(周氷河帯)の高度変化からみた最終氷期極相期の気候環境
小野有五(北大): 日本の周氷河地域の位置づけ-特に垂直分布について-
須貝俊彦(東京大): 山頂の小起伏面と周氷河斜面
水野一晴(都立大): 周氷河斜面に対する植生の役割
清水長生: 東北日本における氷期の斜面安定帯
小口高(東京大): 九州になぜ周氷河斜面が存在するの考えるのか
長谷川裕彦(明治大): 化石周氷河斜面の認定に関する問題点について

2. サマースクールのお知らせ

すでにお知らせしましたように、8月9日~11日まで、上高地~洞沢カール周辺において、岩田修二(三重大)・岩船昌起(東北大・院)両氏の案内による、90年度寒冷地形談話会サマースクールを開催します。これについての詳細な日程が決定しましたのでお知らせします。

記

▽日程: 8月9日(木) 集合 8:00(厳守)上高地ビジターセンター-明神岳東面(ひょうたん池往復)または六百分山(白沢-黒沢から六百分山往復)
宿泊: 小梨平 三重大学テント村
8月10日(金) 小梨平-奥又白谷-バノラマコース-洞沢
宿泊: 洞沢キャンプ場
8月11日(土) 洞沢キャンプ場-北尾根6峰西側崖線-洞沢キャンプ場
解散 12:00

▽地形図: 1/2.5万「焼岳」「上高地」「穂高」、1/5万集成図「穂・穂高」

▽なお、すでに参加申し込みは締め切りましたが、テントおよび食料を持参すれば飛び入り参加可能です。

3. 1990年度会費納入のお願い

すでに納入された方もおられますが、まだ納められていない方は至急、年会費¥1,500を納入しますようお願いいたします。

◆加入者名 寒冷地形談話会

◆口座番号 東京0-171342

◆なお、住所・所属変更などがある方は、通信欄にその旨ご記入ください。

4. 次回例会の予定

回りの例会は10月に予定しております。発表者は未定。